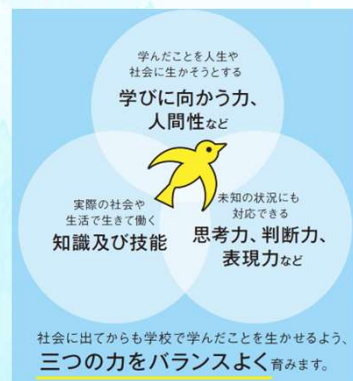


# 安全マップづくり

地域安全活動／子どもの健全育成を図る活動のひとつとして、地域・交通まちづくりに関する活動のサポートを行っています。



※文部科学省発行「学習指導要領」より

～公立大学法人岩手県立様との「安全マップづくり」サポート～

安全講話	交通ルールや身のまわりの危険について学習
ワークショップ アプリ操作練習	マップづくりのイメージと活動練習 ・どのような情報を集めるか確認、アプリの操作練習
フィールド ワーク <small>アプリ (次頁)</small>	学区を歩き、マップに入れる情報を集める ・見つけた危険を撮影し、内容を記録
記録整理 編集 <small>PC 編集</small>	マップづくり（児童作成版） ・集めた情報を整理、編集して形にする
発表	完成マップのお披露目 ・保護者や地域の方々への発表 <small>発表ツール あります</small>
成果承認	・学内外へのお披露目（学年全体版他） ・下級生等に児童主催の安全教室開催 自己効力感の相互促進、モチベーションアップにつながる機会、意識変容の確認



（小学3年生のフィールドワーク）

## 総合的学習

安全マップづくりに取り組む意義

### 1. 目的や成果の分かりやすさ

- ・『安全』は万人に重要なテーマ。
- ・理解しやすく、また成果を生かしやすい。

### 2. 発達過程としての重要性

- ・小学3年生は興味や行動範囲が広がるタイミング。
- ※事故にあいやすい、起こしやすい。

### 3. 知識や経験の積み上げ

- ・より分化した追究が可能になる時期に、『体験型学習』を取り入れる。

### 4. 学びの手法多様化に対応

- ・アプリの活用により、画像やコメントと位置情報を紐付け。
- ・データの重ね合わせ。

児童

- 想像力・発見力・行動力を培う
- 役割を全うする責任
- 共に考える⇒相互的で深い学び
- 振り返り⇒活かす力を育む

大人

- （携わった大人への副効果）
- 子どもの視点／危険を知る
  - 自身のリスク(事故)を回避
  - 意識や行動の変容

子どもにとっての  
安心感



まち(地域)と共に変化する交通や環境⇒意識付けと学びの更新が重要です。



## 使用アプリ

※1：岩手県立大学宇佐美研究室様と(株)ピーぷる様による共同開発

## フィールドワークアプリ※1 開発背景

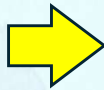
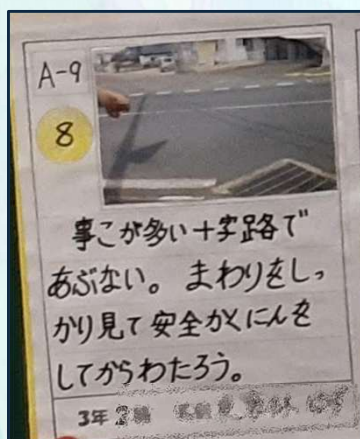
「安全マップづくり」のサポートに携わる中で感じられた課題を解決するために、開発されました。

- 労力過多**…画像の取捨選択・撮影地点確認・画像印刷や切り貼り等
- 不確実性**…撮影画像や地点の記録
- 情報整理**…情報同士の紐付けがなく、データとして残らない
- 情報活用**…単年の集積に留まり、過去年のデータ引継ぎも手作業

### 解消

撮影地点や経路の自動収集・情報管理の一元化とデータの蓄積

## アプリ導入で 正確性・作業効率向上



～作業は大きく2つ～

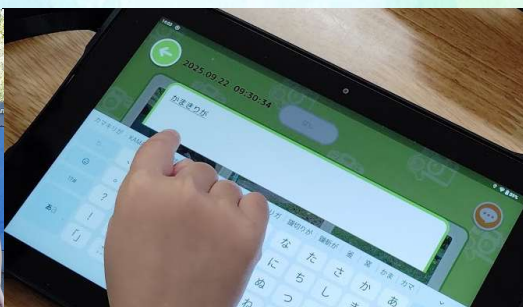
- ①アプリを起動し撮影、説明文等入力
- ②採用写真を選択、説明文等のPC編集

※活動日時、撮影地点、移動経路を自動記録

## ◎自由度が高く、学齢や目的に応じてお使いいただけます。

### 活用例

自然観察…動植物の写真を撮り、気付いたことを記録  
まち探検…まちを歩き、防災設備を記録して校内で共有  
校外活動…班活動の記録、移動経路の把握（宿泊研修にも）



お気軽にご相談ください  
イーハトーブ地域情報マネジメント

Tel : 019-694-3351  
mail : [nakano@ihatov-im.org](mailto:nakano@ihatov-im.org)